

## 選手が主体的に考えるチーム作りへ

### 先生のごなお悩みを解決します

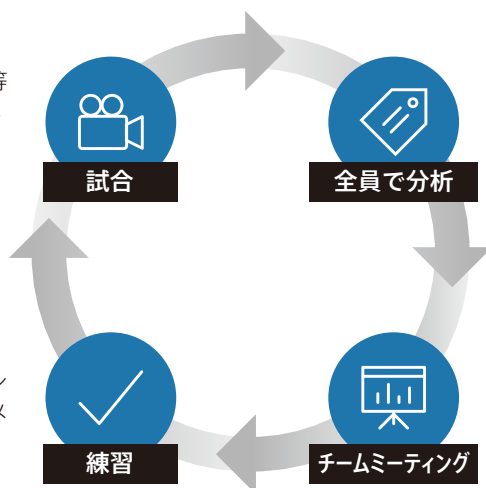
- ・ 動画編集に時間がかかり過ぎている。もっと短時間でやりたい。
- ・ 選手にもっと考えさせたい。
- ・ 試合動画を撮影して保管しているだけで、有効活用できていない
- ・ 全体ミーティングでも使えるような動画編集をしたい



### SPLYZA 活用の PDCA

#### 試合

**活用シーン:** 練習試合  
**活用方法:** スマートフォン等で動画撮影し、アップロード  
**利用者:** マネージャー



#### 全員で分析

**活用シーン:** 各自空き時間  
**活用方法:** 試合の動画にタグ付け作業を実施  
**利用者:** 選手

**ポイント:** だれが、どこで、何した、どうなった、が基本です。プレーの種類はなんでも入れると多くなりすぎるので、最初は必ず見たいプレー、計測したいプレーに絞りましょう。ペアを組んで1人で作業したあと、お互いにチェックし合えば、認識のすり合わせができます。



#### 練習

**活用シーン:** 練習  
**活用方法:** チームミーティングで話し合った内容を練習メニューに取り入れて実践  
**利用者:** 選手

#### チームミーティング

**活用シーン:** 練習中  
**活用方法:** タグ付けをした動画を使い、選手同士でミーティングして課題を発見し、改善案を検討  
その結果を監督へプレゼンし、フィードバックをもらう  
**利用者:** 選手・監督  
**ポイント:** 通常課題はいくつもあるので、解決する優先順位を決めることが重要です。



SPLYZA を  
活用する  
先生・選手の声

選手たちが自分たちで考えるようになり、選手間のコミュニケーションも増えました。

- 一番大きな変化が生まれたと感じられた点は、指導者の主観的な指摘や戦術だけではなく選手主導のミーティング、そこから生まれた発案・戦術的思考をもとにチームの意思統一ができたことです。
- 選手一人一人が分析することで責任感が出る事と同時に全員で共有でき、その結果セットプレーなどの確認が選手主導でスムーズに行われたことが良かったです。